

【科目名】生涯発達心理学		【担当教員】 宮岡 里美 研究室 E 棟 2 階 内線 311 (メールアドレス) miyaoka@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月～金 9:00-17:00						
【授業区分】 専門基礎分野 (臨床医学)	【授業コード】 2-12-0310-0-3							
【開講時期】 P/O/S 1 年次 後期 RP 1・2 年次 後期	【選択必修】 PT/OT 選択 ST/RP 必修							
【単位数】 2 単位	【コマ数】 15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 資料は全受講生に配付します。欠席した場合には、後日担当者から受け取り、必ず参照しておいて下さい。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 毎回、出欠及び遅刻・早退を確認します。申し出のない途中退室は欠席と見なします。 他者に迷惑となる行為が認められた場合は、講義室から退出していただきます。								
【講義概要】 (目的) 従来、発達 は 青年期 までで、それ以降は 衰退 の一途を辿るかのよう に考えられていた。しかし、近年、年齢を積み重ねることの重要性が多くの領域で科学的に明らかにされている。本講義では、心理学の知見に基づいた生涯発達の過程を学ぶことを目的とする。 (方法) Power Point スライドを使用した講義が中心となります。内容は、原則指定教科書に準じます。								
【一般教育目標(GIO)】 胎児期及び乳幼児期～高齢期に至るまで、生涯の各ステージにおける発達の概要と克服すべき課題を知る。								
【行動目標(SBO)】 生涯の各発達段階で発生しやすい心理的危機を知る。そして、その原因を内的要因(生物・心理的要因)と外的要因(社会・文化的要因)から考察できる。心理的危機に対して、適切な対処及びこころの支援ができる。								
【教科書・リザーブドブック】 二宮克美/宮沢/大野木 (著)「ガイドライン 生涯発達心理学」ナカニシヤ出版, 2012 年, 2000 円+税								
【参考書】 尾形和男 (編著)「家族の関わりから考える生涯発達心理学」北大路書房, 2500 円+税 白井利明 (編)「よくわかる青年心理学」ミネルヴァ書房, 2500 円+税								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 下記の評価基準により、100 点満点で 60 点以上を合格とする。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	0	100 点

平成 26～28 年度入学者用

評価指標	取り込む力・知識	50	20						70
	思考・推論・創造の力	20	10						30
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の方法	学修課題(予習・復習)	時(分)
1	生涯発達心理学の基礎 生涯発達とは？/発達の規定要因	講義	指定教科書 p.1-12	30
2	生涯発達心理学の基礎 発達段階とその課題/発達の障害	講義	指定教科書 p.13-30	30
3	胎児期・乳児期 一般的特徴/個性の発現 社会性の芽生え/発達初期の障害	講義	指定教科書 p.31-48	30
4	幼児期 全体的特徴/個性の発達の基礎 社会性の発達/発達のみずきと障害	講義	指定教科書 p.49-62	30
5	児童期 全体的特徴/認知発達 社会性の発達/発達のみずきと障害 まとめ	講義 確認テスト	指定教科書 p.63-80	30
6	青年期前期(中学生の時期) 全体的特徴/個性の発達 社会性の発達/問題行動:学校ストレス・不登校	講義	指定教科書 p.81-94	30
7	青年期中期(高校生の時期) 全体的特徴/個性の発達/社会性の発達 問題行動:性行動と若年出産・摂食障害	講義	指定教科書 p.95-108	30
8	青年期後期(大学生の時期) 全体的特徴/個性の発達/社会性の発達	講義	指定教科書 p.108-110	30
9	青年期後期(大学生の時期) 問題:アイデンティティの拡散・ひきこもり・就職困難 まとめ	講義 確認テスト	指定教科書 p.111-124	30
10	成人期前期(25～45 歳) 全体的特徴/個性の発達/社会性の発達	講義	指定教科書 p.125-130	30
11	成人期前期(25～45 歳) 問題: ライフ・ワーク・バランス	講義	指定教科書 p.131-142	30
12	成人期中期(45～65 歳)	講義	指定教科書 p.143-148	30

平成 26～28 年度入学者用

	全体的特徴/個性の発達/社会性の発達			
13	成人期中期(45～65 歳) 問題:子どもの自立と親の介護/中年期危機	講義	指定教科書 p.149-154	30
14	成人期後期(65 歳～) 全体的特徴/個性の発達/社会性の発達 問題:退職後の生活設計/喪失の体験	講義	指定教科書 p.155-161	30
15	終末期 死の受容 幸せな生涯とは? まとめ	講義 確認テスト	指定教科書 p.162-164	30

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。